

私立大学図書館協会 2011年度西地区部会第2回役員会議事要録

1. 日時：2011年9月14日（木）15：30～17：15

2. 場所：神戸東急イン 3階 「ローズ」

3. 出席 11校 21名

<敬称略>

役員名称	大学名	職名	氏名
会長校	立教大学	事務部長 学術資料課課長補佐	阿久津 美都子 伊藤 秀弥
監事校	関西大学	図書館長 副主幹	北川 勝彦 金 東澄
東海地区理事校	中京大学	事務室長 係長	中河原 省三 渡辺 英二
京都地区理事校	奈良大学	図書館長 課長 課長補佐	堀 信行 奥野 貞介 寺田 輝代
阪神地区理事校	桃山学院大学	課長補佐	川尻 勝治
中国・四国地区理事校	広島工業大学	事務職員	森保 信吾
九州地区理事校	熊本学園大学	図書情報課長 図書課長補佐	津村 秀夫 上野 照美
研究会当番校	甲南大学	図書館長 図書館課長 図書館課長	田中 修 山田 義人 濱頭 辰治
次年度研究会当番校	鹿児島国際大学	事務長	仮谷 淳子
次年度総会当番校	金沢工業大学	業務課長	島林 宏一
部会長校	広島修道大学	図書館長 図書館次長 図書課長	森川 泉 常広 一信 社家 彰夫

議事に先立ち、部会長校 広島修道大学図書館長 森川泉、会長校 立教大学図書館事務部長 阿久津美都子、研究会当番校 甲南大学図書館長 田中修から挨拶があり、続いて出席者全員が自己紹介を行った。

議長は部会長校 広島修道大学図書館長 森川泉が担当した。

【議事】

I 報告事項

一連の報告事項については、先の東西合同役員会、総会での報告と重複することから、前回、6月16日の役員会以降について報告するとともに、質疑については全ての報告事項が終了してからとした。その骨子は以下のとおり。

1. 西地区部会会務報告

部会長校：広島修道大学（社家）から、配付資料（P.1～2）に基づき報告があった。

9月1日時点での加盟校は263校。新規加盟校が5校、脱退校が2校、名称変更館が6校。西地区部会役員会を6月16日（木）に倉敷国際ホテルで、西地区部会総会を6月17日（金）に倉敷芸術科学大学で開催した。

明日、9月17日に西地区部会研究会が甲南大学で開催される。

2. 各地区協議会及び各地区研究会報告

(1) 東海地区

東海地区理事校：中京大学（中河原）から、配付資料（P.3～5）に基づき報告があった。

研究会開催に当たり運営委員会を3回開催し、6月28日に名古屋学院大学において研究会を開催した。そのテーマを「本と大学生をつなぐ：図書館員の発想力と連携力で」と題し、2本の講演を行った。非加盟館を含めて42大学152名が参加した。

さらに、この秋にもう1回研究会を開催する。

(2) 京都地区

京都地区理事校：奈良大学（奥野）から、配付資料（P.5～6）に基づき報告があった。

これまでに2回の「研究（修）会検討委員会」を開催し、今年度の研究会は年2回開催とした。来る10月28日の午前中に「秋季京都地区協議会」を、午後から第1回研究（修）会を計画している。

さらに2回目の研究会は来年1月に京都文教大学において国立国会図書館関西館から講師を招いて「データベース実習研修等」を開催予定である。

(3) 阪神地区

阪神地区理事校：桃山学院大学（川尻）から、配付資料（P.6～7）に基づき報告があった。

6月27日に関西国際大学において52大学69名が参加して「第1回阪神地区相互利用担当者連絡会」を開催した。

(4) 中国・四国地区

中国・四国地区理事校：広島工業大学（森保）から、配付資料（P.7～8）に基づき報告があった。

9月13日（昨日）と14日（本日）の両日、川崎医療福祉大学において研究会を開催した。その内容は、雨森弘行先生による講演と研究発表である。

なお、講演部分は特別事業として今年度新設された補助金を受け、DVDに収録して加盟校に配布予定である。

(5) 九州地区

九州地区理事校：熊本学園大学（津村）から、配付資料（P.8～9）に基づき報告があった。

九州女子大学において8月26日（金）に研修会を開催し、初めて、国公立大学や司書課程に学ぶ学生にも呼び掛け、10数社の企業ブースも設けて70名以上の参加を得て開催した。

3. 私立大学図書館協会会務報告

会長校：立教大学（阿久津）から、配付資料（P.10～17）に基づき「協会関係事項」、「協会関連事項」について報告があった。その骨子は以下のとおり。

I 「協会関係事項」

1. 「加盟校」について、9月1日の総会において9校の新規加盟校、2校の脱退校が承認され、4月1日に遡って東地区264校、西地区263校の計527校となった。
2. 「常任幹事会」について、7月22日にその第2回目を「臨時常任幹事会」として国公立大学図書館協力委員会に先立って次のとおり開催した。
 - 1) 「研究大会のプログラム変更」について、研究助成の報告のうち1件について、健康上などの理由により研究成果を積み上げられなかったため、発表を1年延長したいとの申請があり、了承して研究大会のプログラムを変更した。
 - 2) 「被災校支援（ブックリターン搬送）」について、各館の被災状況を把握する必要があると考え、東地区加盟校260校にアンケートを取った。その内「必要とする支援」についての項目にブックリターンを求める大学があり、全加盟館に呼び掛けたところ3件の申し出があり、その内から松本歯科大学に提供をいただき搬送費を支出した。
3. 「その他の事項」として、「SCOAP³協力表明への賛同」について次のとおり報告があった。

「SCOAP³」は、スイスに本部がある学術雑誌のオープンアクセス化を目指す物理学の分野のプロジェクトである。当プロジェクトは、世界各国に参加協力依頼をしており、日本にも2008年に国公立大学図書館協力委員会を窓口として協力依頼があった。その時は、費用の負担の問題などの懸念があったため参加表明を断っていた。その後、あらためて当該プロジェクトから参加要請があり、国公立大学図書館協力委員会としては、国公立大学図書館の各加盟団体から賛同が得られれば協力表明に向けて協議するとの判断をした。

国公立大学図書館協力委員会の事務局は慶應義塾大学が担当しており、会長校として状況説明を受けた。その結果、今回の協力表明は、経費の支出がともなわず、人的労力の負担もないことが確認でき、国際的な議論の中に日本も参加することが必要だと判断し、常任幹事会で協議し本協会として賛同することとした。

4. 「協会賞審査委員会報告」として次のとおり報告があった。
 - 1) 9月1日の総会において明治大学が受賞したことが報告され、今年度からその内容を紹介することになり、同大学からプレゼンテーションがあった。
 - 2) 協会賞については規約に沿って審査しているが、規約が分かり辛いとの指摘か

ら、総会において規約を改正した。

5. 「国際図書館協力委員会報告」について次のとおり報告があった。

1) 2011年度海外派遣研修（イリノイ大学モーテンソンセンター）について、昨年は海外派遣研修が出来なかったが、その時の予定者であった文教大学の鈴木正紀氏を今年5月30日から6月22日の日程で派遣した。

2) 2011年度の海外集合研修について、「アメリカのラーニングコモンズと伝統的な大学の図書館を巡る」という研修テーマでマサチューセッツ州等米国北東部にある大学を巡る研修として募集する。

6. 「協会ホームページ委員会」について、次のような報告があった。

1) 当委員会を2回開催した。

2) 2010年度末にレンタルサーバーの契約更新を行い、「1テラバイト」に容量をアップした。

II 「協会関連事項」

国公立大学図書館協力委員会の会長校が、9月1日付で慶應義塾大学から筑波大学に交替したことが報告された。

4. 2011年度西地区部会研究会の開催運営について

西地区部会研究会当番校：甲南大学（山田）から、配付資料（P.18）に基づき「図書館利用促進を目的とした取組みとその考察について」をメインテーマとし、128館184名の参加予定で研究会を開催する旨、運営内容の詳細説明があった。

5. 2012年度研究会運営委員校について

部会長校：広島修道大学（社家）から、配付資料（P.19）に基づき、次年度研究会の開催概要を検討する5校の運営委員校の紹介、ならびに、次年度研究会当番校の鹿児島国際大学において2012年度研究会の日程やテーマ、講演会などに関して検討する第1回運営委員会を10月28日（金）に開催予定であるとの説明があった。

また、今後、各地区協議会に研究発表者の推薦を依頼する運びとなることから、その取り計らいについて依頼があった。

6. その他 「西地区部会ホームページ（以下、「HP」）の活用」について

部会長校：広島修道大学（社家）から、次のような報告があった。

西地区部会のHPには「総会資料や館長懇話会要旨、研究会の発表要旨など」を事前に掲載するとともに、「総会議事録、館長懇話会の記録、西地区部会役員会の記録など」も掲載している。更新した際には、各地区協議会のメーリングリストにより理事校が加盟館に周知している。

去る9月1日の早稲田大学での総会においても、2011年度の事業計画のひとつに「情報の共有化」が謳われており、事務局としても出来る限りHPの活用に努めていきたいと考えているので、今後ともご協力をお願いしたい。

また、6月の西地区部会の総会において、HPの活用に関して要望があった。この件は現在、西地区部会の報告を基に協会HP委員会で検討されている。と同時に、会長校から協会HP委員長宛に「立教大学が会長校を務める2011－2012年度において

責任を持って運用方針を定めたく、第3回常任幹事会までに検討して欲しい旨」要望書が出されており、この要望書に対する協会HP委員長からの答申を待っているところである。今後、その答申を基に会長校が原案を作成され、第2回東西合同役員会で協議する運びとなっている。

これを受けて会長校から次のような補足説明があった。

- 1) サーバーを1テラバイトという大きな容量に更新した。(前述のとおり)
- 2) 現在、「動画配信」が話題になっているが、ユーチューブなどの「ストリーム配信」は、容量の問題から現在のサーバーでは無理と聞いている。
- 3) HPの階層が深くなっているので、見やすくなれば良いと考えている。
- 4) 更新が簡略化できれば良いと考えている。
- 5) HPの構成には、各地区によって違いがある。成り立ちの歴史的経緯もあるが、そのフォームが統一化できないかということも考えている。

報告事項に関する質疑応答：

九州地区理事校 熊本学園大学(津村)より、今年度の新規加盟校への総会承認後の対応に関して、「当該大学に対する通知とホームページの加盟館一覧の更新手続きは、どこが担当するか」について確認のための質問があった。

これに対して会長校から、新規加盟校に対しては総会後に通知文を送付したこと、また、ホームページの更新は会長校の担当であり、早急に対応する旨回答があった。

II 協議事項

1. 2012年度西地区部会 総会運営(案)について

次年度総会当番校：金沢工業大学(島林)から、配付資料(P.19)に基づき2012年6月15日(金)に開催予定の西地区部会総会について、午前の総会、館長懇話会、午後の講演や施設見学等について概要説明があり承認された。

2. 2012年度西地区部会 館長懇話会の運営(案)について

議長(森川)から、運営形式は本年度と同様に、原則として図書館長、センター長及び館長代理の方の出席に限らせていただくこと、テーマについてはこれから調整し、第3回役員会(3月9日)において報告する旨説明があり承認された。

3. 西地区部会における予備費の執行について(前回役員会、総会での要望事項)

部会長校：広島修道大学(常広)から、別紙資料に基づき次の通り説明があった。

①地区協議会の繰越金の弾力的運用を図る

西地区部会における地区協議会への交付金には、「協議会交付金」と「研究会交付金」の二種類があり、後者に多くの繰越金が生じていることから、各地区の実情に合った予算編成を行い、各地区協議会総会の議を経て弾力的な運用に取り組むことが出来るよう取り計らう。

②2011年度の「予備費」に計上した「研究会補助金(特別な企画に対する50万円(1地区10万円)の補助)」について、「研究会に対する特別事業に対しての補助」

と研究会に限定したが、その枠を取り除き、「総会、研究会等における特別事業に対する補助」とする。 *西地区役員会への事前申請に基づく承認を必要とする。
審議の結果、次年度予算から取り組むことを可能とすることとし異議なく了承された。

III 承合事項

1. 講演会講師料の源泉徴収について（前回役員会の継続事項）

部会長校：広島修道大学（常広）から、次の通り説明があった。

講師料の源泉徴収について、その取り扱いに関して何件かの問合せを受けた経緯から、共通認識を図るため前回、確認のため説明した。しかし、認識は共通していても各地区によってその取り扱いに違いがあることが分かり、各地域の慣例を尊重することとした。

IV その他

1. 西地区部会役員校・当番校の選出について

議長（森川）から、配付資料に基づき、これまでに推薦を受けた2015年度・2016年度の役員校・当番校について次のとおり報告があった。

2015・2016年度部会長校：福岡大学（九州地区から推薦）

2015・2016年度京都地区理事校：大谷大学

2015・2016年度九州地区理事校：沖縄国際大学

2015年度西地区部会総会当番校：九州産業大学（九州地区推薦）

2016年度西地区部会総会当番校：福山大学（中国・四国地区推薦）

2015年度京都区研究会幹事校：京都外国語大学

2016年度京都区研究会幹事校：京都学園大学

なお、2015年度・2016年度の各地区内未定の研究会当番校、理事校、研究会幹事校部分は決定次第部会長校へ連絡して頂きたい旨再度の依頼があった。

2. その他

部会長校（森川）より、時間に余裕を生じたので、館長懇話会の運営方法やテーマ設定などに関して、今年の館長懇話会の印象、感想、意見を求めた。活発な意見交換がなされ、有意義な懇談のひと時をもった。

以上